

葛城市

相撲発祥の地PRへ「けはやまつり」

相撲発祥の地としてまちを盛り上げる葛城市は2月23日、同市富麻の相撲館「けはや座」で、子ども相撲教室や、学生力士の公開稽古などを行う毎年恒例イベント「けはやまつり」を開催した。イベントには、市観光大使を務める元横綱・白鵬の白鵬翔さんも参加。子どもたちにしこや、すり足などの重要性を指導し、基礎練習が土俵の上でどのような効果があるのか、会場に訪れた人たちに解説した。

イベント開催にあたり阿古 和彦市長は「甚句会の皆さんが相撲甚句を、そして子どもたちがわんぱく相撲を、学生の皆さんが相撲の練習風景を披露してくれます。相撲が中心のこのイベントを楽しんでもらえたら」とあいさつ。

続いて市内の相撲教室に通う子どもや、相撲未経験の子どもらも参加する「子ども相撲教室」を実施。しこの練習で白鵬さんは「自分の体重と相手の体重合わせて約3000ギに耐える足腰が必要になります。さらに相手が思いっきりぶつかってきた場合には1秒程度の衝撃があるため、こ

れにも耐えられるようにしっかりとしこを踏んでください」と、練習の意味、目的を説明しながら指導にあたった。練習の最後には大学生力士が相手になる「ぶつかり稽古」が行われ、子どもたちが順番に力強くぶつかっていった。

相撲館の外では、キッチンカーや屋台が出店する「けはやミニマルシェ」を開催。また、イベントに参加した先着50人には「けはや甚句会」が調理したちゃんこ鍋が無料で振る舞われた。



「相撲が中心のこのイベントを楽しんでもらえたら」とあいさつする阿古市長



市観光大使を務める白鵬さんもイベントに駆け付けた

元横綱・白鵬さんも駆け付け指導



相撲の指導をする白鵬さん



ゆっくりと、力強くしこを踏む子どもら



手本を見ながらすり足に挑戦



大学生力士に力強くぶつかっていく「ぶつかり稽古」



先着50人限定で、ちゃんこ鍋が振る舞われた



キッチンカーが出店した「けはやミニマルシェ」



相撲発祥の地をPRするために毎年開催されている「けはやまつり」